

平成21年8月10日

## 控訴審結審報告

歯科医療を守る国民運動推進本部  
代表 協本征男

日頃は海外委託問題訴訟に対しまして、ご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

おかげさまで、平成21年8月5日、東京高等裁判所における控訴審が結審致しました。内容は、弁論が4回、進行協議（和解協議）が3回という充実した審議でありました。

4月15日、第3回目の弁論が終了し、「今日で結審かなあ」と思っていた矢先、「只今から別室に於いて進行協議を行いたいと思います。お時間はよろしいですか」という裁判長の発言で、弁護団と原告団はじめ満席の傍聴席が色めき立ったのです。

別室で、控訴人側は弁護士2名と代表、被控訴人側は代理人5名、が裁判官3名と向かい合って着席し、裁判長から「このまま結審し、判決を言い渡したとしても国民の安心安全が保たれる補償は何も得られない。法律を抜きにしても、お互いの協議によってこの問題を解決する手だては無いものかを考えました。ご協力願えないでしょうか」。

原告側としては、「寝耳に水」状態でした。更に、原告側と協議する裁判長の発言のなかには、「皆さん方が、此処まで懸命に努力されてきた訴訟の事実を、何とか意義あるものとして残してあげたい」と、何度となく重ねて言われました。

真挚に喜ぶと共に、一抹の期待がよぎるのも当然のことです。

そして、弁護士と相談の結果、「求められるまま」に和解案を提案したのです。

この問題を解決するために、有識者、歯科医療関係者、と国民・患者サイドの声を代弁する消費者団体関係者等による専門の検討機関を設置することを提案したのです。

三度に亘る進行協議は、裁判所の国側説得に殆どの時間が費やされたと言っても過言ではありません。その中で、暗に日技の正式な要請があれば応じて良いという厚生労働省の見解を引き出したのは、画期的な進展でした。

いずれにしても、当初、国側はこの裁判に於いて、又、裁判外でも、約束を取り付けること等は一切拒否するという態度でしたが、厚生労働省は、しかるべき業界団体（日技）が申し出れば応じるというところまで、前向きになった事は進歩です。

ところが、その日技に再三事情を説明し、「裁判外」でのお願いをしているにも拘わらず、

話をする事さえ応じて頂け無いのが現状です。そこで、各都道府県技工士会にお願いして賛同支援を取り付け、それを持って日技にお願いしたらと言うことで、各技工士会に文書を送り、賛同のご返事を頂戴する方法をとらせて頂きました。

当初、賛同頂いている会長方に各県技の賛同取りまとめをお願いしたのですが、あまりの反応の鈍さに、代表自ら「清水の舞台から飛び降りる気持ち」で全会長方に直接電話作戦を実践させて頂いた結果、現在まで35都県技会長の文書でのご賛同を得ることができました。又、歯科医療関係団体では、日歯、日技以外の7団体が賛同して頂きました。心底から満腔の敬意と感謝を申し上げます。

最も感銘を受けたことは、相当の覚悟で緊張しながらの電話に対して、各県技の会長方は、どなたお一人として頭ごなしの露骨な抗議や、拒否反応は一県も無かったことです。賛同頂いた会長方は推して知るべし、敬意、賛辞、反省、激励の麗句の羅列には恐れ入りましたし、賛同頂けない会長方でも、「私自身は賛同なんだけど」と言われながら、無理からん日技の動向に気を遣って居られたことは事実でした。

この事態を踏まえ、早急に日技と会見し、結審前に今一度進行協議の場での新たな展開を期待しつつ、再度7月末に弁護士の方から日技に対してこの事情説明のうえ会見を申し入れたところ、「時間の調整がつかず、お会いできない」というご返事です。前代未聞の裁判所の意思仲介にも応じられない組織、組織47都道府県のうち35都県技の賛同支援の実態を伝えても、「話にも」応じない日技。断腸の想い。残念至極。私たちは、法廷外での打つ手をひとまず断念せざるを得ず、裁判所に報告し隔靴搔痒（かっかそうよう）の想いで、8月5日の結審を迎えることとなったのです。

このような運動をしていけば、非難、批判、誹謗中傷は覚悟の上ですが、先日、近畿地方のある県技の専務理事さんから、個人的なご意見をいただきました。

脇本のとった行動は、最初から間違いだと言った後で、  
「今までの日技の行動があつての一歯科技工士の立場が守られていると言うことは、ご理解いただけていますか。個人的に活動しても、最終的には日技を動かさなくては、どうしようもないということもご理解いただけたと思います。日技も、この問題は決してほっているわけではありません。最初から日技と協力してやってこれたらよかったですね。Kさんたちの歯科技工士への思いが、全歯科技工士が喜ぶ方向へむけられることを切に願います。」

ありがとうございました。あなたがた一部を除いては、全技工士は泣いております。